



ま がい 巻き貝は、なぜほとんどみぎま 右巻きなの

みぎま 右巻きってというのは、どうやってみるの

カイのずかんなどをていねいに見てみると、のっている巻き貝の殻の口は、ほとんど、みぎがわの方に向いて、開いています。では、貝殻のうずが、右巻きか、左巻きかを見るのは、どうやって見るのでしょうか。

巻き貝の殻を、巻いているてっぺんから見たとき(貝殻を上から見たとき)、うずが、時計の針が回ると同じ方向に回るものを、右巻きといいます。

右巻きなら、貝殻の口は右の方向に開きます。ですから、ほとんどの巻き貝が、右巻きだということがわかります。しかし、なぜ、右巻きが多いかは、わかっていません。

しゅるい ひだりま かい 種類によって左巻きの貝もいる

うみ かい 海の貝では、アメリカ西海岸に^{にしかいがん}いるサカキボラは、^{ひだりま かいがら}左巻きの貝殻です。

りくがい はやし お ぼ つ ところ ほそなが かたち ま がい 陸貝で、林の落ち葉の積もった所などにいる、細長い形をした巻き貝のキセルガイの仲間、日本に6種類ぐらいいますが、どれもみな殻は左巻きです。ただし、よく似た仲間のキセルガイモドキは、^{みぎま}右巻きです。

また、巻き貝の一つであるカタツムリの仲間を調べてみると、大部分が右巻きですが、^{しゅるい}左巻きの種類もいろいろ見つかっています。秋田県で調べたデータでは、大型のカタツムリでは、^{ひだりま}左巻きのほうが多かったそうです。ヒダリマキマイマイ、イワデマイマイ、ミチノクマイマイ、ナンブマイマイ、ムツヒダリマキマイマイなど、^{とうほくちほう ひがしにほん}東北地方から東日本にかけて、^{ひだりま}左巻きのものが見つかっています。(監修・安部 義孝)

